



第45回白糠町ロードレース大会
 一年の走り始めは白糠から
 白糠町総合体育館リニューアルオープン記念



大会コースを清掃

4月5日、株式会社大前技建工業（大前祐二代表取締役）が、地域貢献の一環として道路の清掃を行いました。

4月7日開催のロードレース大会を前に行われたもので、10kmのコース上を2周、路面清掃車が周り、路肩などは社員3人がホウキ掃きました。清掃のおかげで選手たちは気持ちよく走ることができました。ありがとうございました。



幅広い世代が参加
 楽しみながら健脚競う

4月7日、白糠陸上競技協会（坂本勝雄会長）主催の第45回ロードレース大会が白糠町総合体育館前を発着に行われました。

5年ぶりの開催となった本大会は、道東を中心に札幌市や旭川市など、道内各地から540人がエントリー。また、本大会は、総合体育館リニューアルオープン記念大会として開かれ、特別ゲストに白糠町出身の帝京大学駅伝競走部中野孝行監督と、同じく帝京大学で箱根駅伝でも見事な走りを見せた小野隆一朗選手が招かれました。また、サプライズゲストとして、中野監督の弟、中野政文さんも神奈川県から参加し、大会を盛り上げました。

開会式では小野選手が「最後まで、けがなく楽しみながら走ることを誓います」と選手宣誓しました。

本大会は10kmと5km、3kmのコースで男女、年齢別、親子の12部門で競われました。



1. 選手宣誓をする小野選手 2. 特別講演を行った中野孝行監督 3. 開会式で「楽しみながら走りたい」とあいさつした中野監督の弟の中野政文さん。

優勝したのは旭川市の高橋孝弘さん。32分17秒でゴールしました。小野選手は2位で32分24秒という結果でした。

その他の結果は、白糠陸上競技協会のホームページまたは上記のQRコードからご覧ください。